

# ソフト・パワーを通じた成長機会の拡大① 【要望額12億円、要求額31億円】

## 【事業の・目的・効果】

● アニメ、ファッション等の「クール・ジャパン」の創造力、日本語を含む日本の文化の力などは日本の「ソフト・パワー」。これらを戦略的に発信し、「日本」というブランド力を向上させることで、外交力を強化するとともに、これまで必ずしも成長に結びついてこなかった日本の関連産業による海外展開を支援する。

● 海外での日本語講座を拡充することで、EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者を含む、日本語能力を持つ優秀な現地人材の大幅な増加を目指す。合わせ、日本の文化・社会・政治・経済の理解への入り口である日本語学習を拡充することによって、日本を理解し親近感を持つ人々を増やす。

● 日本語を含む日本の文化、産品、コンテンツ等に対する海外の関心、支持を広げることで、これらの分野の日本商品の海外需要を増やすほか、関連産業の海外展開（投資、提携など）を支援することにより、オールジャパンで、文化産業分野での生産増+6.9兆円、雇用+26万人（2020年時点）の実現を目指す。

## 要求額（31億円）

### 1. 大使館等でのクール・ジャパンの発信（0.2億円）

「日本ブランド」の売り込みが特に必要な最重要拠点国・地域において、大使館等で日本の専門家によるセミナー等を実施。



### 2. 国際交流基金による日本語普及事業（31億円）

国際交流基金では、日本語教育専門家派遣・教員招へいを通じ、海外日本語教員を育成し、各国における日本語教育の導入・強化を支援してきている。海外の基金拠点の一部では、現地教師の養成を中心に限定的に日本語講座を展開。

## 【要求額と要望額の違い】

1. クール・ジャパンの発信： 右欄の下線部参照。
2. 日本語普及： 要望額により、国際交流基金が開発した日本語教育スタンダード及び日本語能力試験とも連動した形で、一般学習者を対象とした初級から上級までを網羅した講座の展開が可能となる。

## 要望額（12億円）

### 1. クール・ジャパンの発信（2億円）

#### (1) 大使館等でのクール・ジャパンの発信

事業の効果が高い対象国・地域を、要求額の経費を活用して事業を実施する最重要拠点以外にも選定し、個別分野（ファッション、料理等）のブランド力向上、ビジネス展開に資するセミナー等を実施。



#### (2) 大型国際イベントと連携した「クール・ジャパン・キャンペーン」

大型国際イベントにおいて日本文化を幅広く立体的に組み合わせた日本文化紹介事業を大規模に実施。  
(要求額には本件事業を実施するための経費は含まれていない。)



### 2. アジア諸国等における日本語教育拡充（10億円）

国際交流基金によるアジア諸国等における海外日本語講座を展開・運営し、これらの講座の現地教員を訪日させて研修をおこなう。インドネシア及びフィリピンにおいては、EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者に対する訪日前の日本語教育を優先的に実施。

## ソフト・パワーを通じた成長機会の拡大②

### 1. クール・ジャパンの発信【要望額2億円、要求額0.2億円】

#### 【海外での実施体制】



### オール・ジャパンでのクール・ジャパン発信をより効果的に推進

※従来、単発的な取組に限定されていたことを見直し、専門家の派遣やイベントの開催、大使館・総領事館によるメディア対策、国際交流基金による日本文化総合紹介事業、日系企業・関係機関との連携による取組等を組合せ、総合的かつ効果的に日本の創造力を海外に向けて発信していく。

# ソフト・パワーを通じた成長機会の拡大③

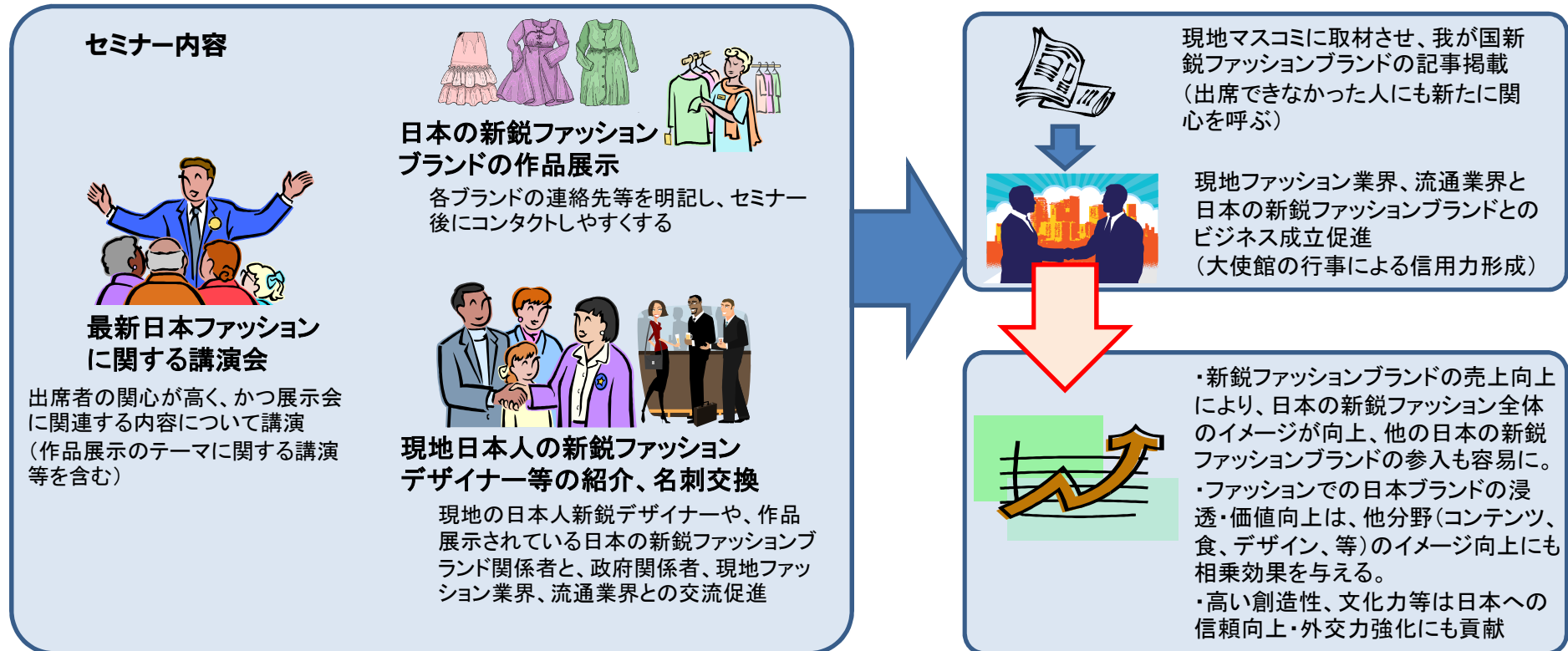
## 1. クール・ジャパンの発信

### (1) 大使館等でのクール・ジャパンの発信

具体例：ファッションに関するセミナー＋展示会（大使公邸での開催を想定）

ターゲット：現地の関係者

（例）ファッション業界に関する政府関係者、ファッション業界関係者、流通業者、メディア関係者、有識者等



## 在外公館のメリットを活用した、費用対効果の高いクールジャパンの海外発信

- (1) 日本政府を代表する信用力
- (2) 大使等幹部、経済部、広報文化部等の有する総合力、現地での幅広い人脈（含むプレス）の活用
- (3) 現地の日本の機関を結集した総合力

※以上はファッションの例だが、コンテンツ（マンガ、アニメ、映画、ドラマ、音楽、ゲーム等）、食、デザイン等の分野についても取り上げる。

# ソフト・パワーを通じた成長機会の拡大④

## 1. クール・ジャパンの発信

### (2) 大型国際イベントと連携した「クール・ジャパン・キャンペーン」

海外で開催される大型国際イベントの機会を捉え、伝統文化からポップカルチャーに至るまで我が国の魅力を多面的に紹介する大規模な日本文化紹介事業を実施。

#### 課題

- 『新成長戦略』: クールジャパンの発信、輸出、海外展開施策の実施が求められている。
- 中国、インド等の台頭に伴い対日関心が相対的に低下する中、国際世論形成におけるわが国の発言力をいかに向上させるか。
- 日本文化の魅力を、これまでになく効果的に多くの人々に伝えるにはどうすべきか。

#### 総合的・複合的・大規模に実施

#### 大型国際イベントの例

Anime Festival Asia (シンガポール)、Comic Party (バンコク)、中国国際動漫節 (杭州)、香港動漫電玩節 (香港)、ACCTIVE Expo (ホーチミン) といった日本のポップカルチャーを中心に扱うイベントや、アジア競技大会等のスポーツイベント、Music China (中国国際楽器展覧会) などの国際博覧会・見本市等

#### 【事業例】

#### ジャパン・タイム・トリップ

伝統を踏まえながら革新しつづける、クールな日本の姿を、(マンガ・アニメ作品の時代設定となることが多い) 江戸時代と現代の日本文化の対比、海外の文化芸術に与えた影響等を紹介を通じて、来場者に訴える。

#### 対応

- 世界各地の大型の日本のポップカルチャー・イベント、国際的スポーツイベント、万国博覧会、国際見本市、国際美術展、国際図書展など、多くの集客やメディア露出が期待できる機会を有効に活用
- 総合的、複合的かつ大規模な日本文化紹介事業を実施し、わが国のソフトパワーを効果的に発揮

#### 事業の効果

- 対外発信力の強化
- 海外での対日理解・親近感を効果的・効率的に増進
- 日本の外交力の強化
- クールジャパンの魅力と一体となった日本の製品・サービスに対する関心を惹起
- 日本製品の需要発掘
- 日本のブランド力の向上

- 展覧会「ジャパン: 江戸から現代へ」
- 歌舞伎レクデモ公演
- コンテンポラリー・ダンス公演
- テレビ番組(または映画作品) 上映「新しい文化～フィギュアの出現～」
- 講演「ジャパニーズ・ファッション: 着物とアバンギャルド」
- 講演「マンガの国・日本: 絵巻物からマンガまで」
- 講演「日本の食: 伝統と現代」

# ソフト・パワーを通じた成長機会の拡大⑤

## 2. 日本語普及事業【アジア諸国等における日本語教育拡充: 要望額10億円、日本語普及事業: 要求額31億円】

### 【政策課題】

- (新成長戦略: アジア経済戦略～ヒト・モノ・カネの流れ倍増)  
日本語教育等の強化による高度人材等の育成・確保⇒日本語能力を持つ優秀な現地人材の大幅増加
- (「東アジア共同体」構想に関する今後の取組みについて: ヒトの交流をはじめ文化面の交流の強化)  
国際交流基金を通じた日本語講座の展開、日本語教師育成の強化

### 【中期的取組み】

(国際交流基金による日本語普及事業)  
国際交流基金では、日本語教育専門家派遣・教員招へいを通じ、海外日本語教員を育成し、各国における日本語教育の導入・強化を支援してきている。海外の基金拠点の一部では、現地教師の養成を中心に限定的に日本語講座を展開。

【要求額約31億円】



日本語学習者数は、増加傾向にあるものの、更に海外での日本語学習者の裾野を広げるためには、国際交流基金が開発した日本語教育スタンダード及び日本語能力試験とも連動した形で、一般学習者を対象とした初級から上級までを網羅した講座の展開が必要。(他国類似機関も実施しており、各種学校を牽引している。)

(目標)

- ☆平成32年度までに海外30ヶ所、年間受講者3万人を目指す。
- 既存の基金海外拠点の活用
- 基金海外拠点が無い地域での講座の開設(大学等との連携も検討)
- ⇒将来的には、講座収入の増により、安定的な日本語普及事業の運営を図る。

### 【要望額 10億円】

#### ●海外直営講座の運営

- ・既存拠点講座の拡充(6か所程度)
- ・新規講座の開設(6か所程度)

※インドネシア及びフィリピンにおいては、相手国政府と協力して、EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者に対する訪日前の現地日本語講座を優先的に実施



© 2006 The Japan Foundation

#### ●直営講座 現地教師訪日研修

- 日本語国際センターでの教師養成研修を実施。

